

大分県立歴史博物館の運営と目標

◆令和7年度の運営目標

- ① 文化財・伝統文化を「活かして守る」施設としての機能の充実
- ② 学校教育及び社会教育における学習機会の提供と継承者の育成

◆博物館をとりまく環境

- 博物館法の改正による収蔵品のデータ化
- SNS等、デジタル環境の展開
- 小規模集落の増加・社会構造の変容
- 気候変動および「南海トラフ地震」対応等の防災
- 専門分野の細分化

◆博物館の課題

- 文化財・伝統文化の魅力を伝え、新たな価値を創造する各種展示の充実
- デジタルを活用した文化財・伝統文化の情報発信の推進
- 小・中学校・高等学校・特別支援学校への訪問講座、来館講座の推進
- 教育機関と連携し、文化財に接する機会とコンテンツの充実
- 地域における継承者の育成
- 文化財の調査と保全

Ⅰ 短期目標

(1) 博物館登録の実施(R6)

- ① 博物館の使命・存在意義について
- ② 収蔵品のデータ化の推進

(2) 他の施設や地域との連携(R7)

- ① 宇佐神宮御鎮座1300年の連携
- ② 大阪万博に関わる展示など
- ③ 世界遺産に関わる動き

Ⅱ 中期目標

(1) 公開承認施設の更新

- ① 収蔵品のデータ化の完了
- ② 展示履歴

(2) 45周年展示(R8)

- (3) 国史跡「川部・高森古墳群」
保存活用計画の作成

Ⅲ 長期目標

(1) 50周年記念(R13)

- ① 平常展示室の更新
 - ② 施設のリニューアル
 - ③ 展示内容の検討
- (2) 大友宗麟生誕500年(R12)
 - (3) 50周年以後の運営について

◆大分県の歴史、文化、暮らしへの理解を深め、地域のみなさんとともに、地域を見つめ直し、新たな文化の創出に寄与する。